

## 『地域密着型金融推進計画（平成21年度～平成23年度）』の進捗状況

平成21年4月～平成22年3月

## 全体的な進捗状況

計画の達成に向けた取組みは概ね順調に進んでいます。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化  
創業・新事業支援、経営改善支援・経営相談やビジネスマッチング等を活用した支援に取り組みました。
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底  
中小企業診断士の養成、目利き能力向上に向けた人材育成など内部態勢の強化を図りました。
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献  
地域経済の活性化に向けた地域の各委員会への参画や地域経済全体を展望したビジョンの策定に取り組みました。  
また、商業高校の課題研究授業の年間サポートやまちづくり出前講座などで金融知識の普及に取り組み、職員に対しては認知症サポーター養成講座を開講しました。その他、継続的に文化活動、教育・社会福祉活動、スポーツ振興に取り組んでいます。

## 成果目標に対する実績

項 目	成果目標	実 績
	平成24年3月末	平成22年3月末
「とうしん創業塾」開催回数	6回	2回
創業支援取組み先数	100先	43先
経営改善支援取組み先数	300先	287先
経営改善支援による債務者区分のランクアップ先数	50先	22先
とうしんMEサポート 流動資産担保融資	2億円	-
金融教育実施回数	60回	50回

## 「地域密着型金融推進計画」の進捗状況について（平成21年4月～平成22年3月）

### 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

項目	具体的な取組み（数値目標）	スケジュール	進捗状況
		平成21年度	平成21年4月～平成22年3月
<b>創業・新事業支援機能等の強化</b>			
創業支援機能の強化	「とうしん創業塾」の定期開催 「創業支援制度」「創業サポートローン」の活用 目標 創業塾開催回数 6回 創業支援取組先数 100先	「とうしん創業塾」 2回開催 「創業支援制度」 「創業サポートローン」 の活用	目標に対する実績 創業塾開催回数 2回 創業支援取組先数 43先 創業支援融資実績 31件 452百万円 愛知県立春日井商業高校で研究課題「起業家になろう」の授業開催 平成21年9月～11月 計8回
産学官の連携	東海地区産業クラスターサポート会議への参画・活用 中部大学・岐阜大学・名古屋大学・名古屋工業大学との産学連携の強化・進化 地方自治体・商工会議所等との連携強化	産学官の連携についての研修 外部研修機関へ職員の派遣 大学主催行事への参加	岐阜大学産学連携本部同行研修を2回実施 監査法人トーマツ主催研修に参加 病院事業計画の策定 岐阜大学地域交流協力会総会・講演会に参加 岐阜大学創立60周年記念事業 第16回岐阜シンポジウムに参加 産学官連携事業1件成約
<b>取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化</b>			
身近な情報提供・経営指導・相談	TOSプラザ経営支援部門強化 個別企業への企業診断実施 JRS経営情報、TKC経営指標BASTの活用	TOSプラザ経営支援部門強化 個別企業への企業診断実施	個別企業の企業診断2件実施 創業相談においてTKC経営指標BASTを活用 「地域力連携拠点東濃」のパートナー連携先として、連携先打合せ会議に参加
ビジネスマッチング等を活用した支援	各種ビジネスフェアへの積極的参加 しんきんビジネスマッチング情報の有効活用	各種ビジネスフェアへの積極的参加 しんきんビジネスマッチング情報の有効活用	しんきんビジネスフェアへ参加 多治見・可児・春日井等のビジネスフェアに参画 しんきんビジネスマッチング情報の研修実施 青年経営者クラブ会員紹介ガイドブックの作成支援
国・地方公共団体・商工会議所・商工会等他機関との連携	中小企業施策の職員への周知徹底、有効活用 政府系金融機関・保証協会との連携強化	商工会議所等連携融資の見直し 中小企業施策の職員への周知徹底、有効活用	商工会議所等連携融資の見直し 中小企業施策の職員への周知徹底、有効活用 ・経済産業省、農林水産省が開催する事業の職員への周知、取引先への情報提供

項目	具体的な取組み（数値目標）	スケジュール	進捗状況
		平成21年度	平成21年4月～平成22年3月
<b>事業再生に向けた積極的取組み</b>			
事業再生の早期着手に向けた取組みの促進	経営支援グループ、営業店職員による定期的・継続的な訪問支援 経営支援グループ職員を全国信用金庫協会の企業再生支援研究専門部会へ派遣 目標 経営改善支援取組み先数 300先 経営改善支援による債務者区分のランクアップ先数 50先	経営支援グループ、営業店職員による定期的・継続的な訪問支援 経営支援グループ職員を全国信用金庫協会の企業再生支援研究専門部会へ派遣 営業店職員への集合研修の実施	目標に対する実績 経営改善支援取組み先数 287先 経営改善支援による債務者区分のランクアップ先数 22先 経営支援グループ、営業店職員による定期的・継続的な訪問支援の実施 経営支援グループ職員を全国信用金庫協会の企業再生支援研究専門部会へ派遣し、情報交換、情報収集を実施 営業店職員への集合研修の実施 職員向け経営改善計画策定支援マニュアルを策定 経営改善計画進捗状況管理表を改定
中小企業再生支援協議会等他機関との連携	岐阜県信用保証協会主催「企業再生担当者連絡会」「ぎふ中小企業支援ファンド連絡会」等に積極的に参加、連携強化 「支援ファンド」「協議会版DDS」等の活用を検討	「企業再生担当者連絡会」「ぎふ中小企業支援ファンド連絡会」等に積極的に参加 「支援ファンド」「協議会版DDS」等の活用を検討	「企業再生担当者連絡会」「ぎふ中小企業支援ファンド連絡会」等に積極的に参加し、連携強化、新たな連携先の開拓の実施 「企業再生ファンド」「DDS」の活用を検討
<b>取引先企業に対する事業承継支援への取組み</b>			
後継者育成等に係る相談、相続対策のコンサルティング	F P相談機能の強化 地域力連携拠点との連携 信金キャピタルとの連携	F P相談機能の強化 地域力連携拠点との連携 信金キャピタルとの連携	職員向け勉強会の実施によりF P資格取得を支援 「地域力連携拠点東濃」他2拠点とパートナー連携を結び、次長を対象とした「地域力連携拠点事業内容説明会」を開催
M & Aのマッチング支援	諸会議・研修等でM & Aに関する情報提供 信金キャピタル主催セミナー等参加 TKC中部会との連携	諸会議・研修等でM & Aに関する情報提供 信金キャピタル主催セミナー等参加	信金キャピタルからの「M & A案件情報」を全店に周知、公開し、関心のある取引先へ情報提供 信金キャピタル主催「事業承継コンサルティング勉強会」に参加 営業推進第二部職員に対する勉強会を実施

## 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項 目	具体的な取組み（数値目標）	スケジュール	進捗状況
		平成21年度	平成21年4月～平成22年3月
「目利き」機能の向上をはじめ事業価値を見極める融資＝不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の徹底			
企業の将来性や技術力を的確に評価するための審査体制の強化	審査役のスキルアップによる審査体制の強化 審査役による営業店臨店指導 営業店の審査体制の検証・強化 営業店職員のスキルアップ	審査役の外部研修への派遣 審査役による営業店臨店指導 営業店職員の集合研修	審査役を全国信用金庫研修所主催の「目利き力実践講座」へ派遣 審査役のスキルアップによる審査体制の強化 審査役による営業店臨店指導を2回実施 営業店次長、融資担当者対象の研修を実施
不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の徹底	流動資産・設備資産担保融資制度の有効活用 目標 とうしんMEサポート 100百万円 流動資産担保融資 100百万円	流動資産・設備資産担保融資制度の有効活用	目標に対する実績 とうしんMEサポート 実績なし 流動資産担保融資 実績なし 流動資産・設備資産担保融資制度の本部担当職員を対象とした勉強会を2回実施 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資実績 20件 116百万円
目利き能力の向上、人材育成	中小企業診断士の養成 外部講座への派遣 金庫内研修の実施 目利き能力、企業支援に関する通信講座の受講	中小企業診断士の養成 外部講座への派遣 金庫内研修の実施	中小企業診断士1名養成 外部講座への派遣 20名 金庫内研修の実施 185名 FP1級技能士2名、FP2級技能士(中小企業)2名、農業経営アドバイザー2名養成
中小企業に適した資金供給手法の徹底			
中小企業の資金調達手法の多様化等	私募債、シンジケートローン、PFI等の取組強化 専担者の育成強化 外部機関との連携	私募債、シンジケートローン、PFI等の取組強化 専担者の育成強化 外部機関との連携	岐阜県信用保証協会との連携による勉強会を実施 平成21年8月18日～20日 対象：渉外担当
個人・小規模事業者の資金ニーズに対するきめ細やかな対応	SF、ビジネス固定ローン等の有効活用 個人・小規模事業者に対する相談機能強化、審査態勢の見直し	SF、ビジネス固定ローン等の有効活用 個人・小規模事業者に対する相談機能強化、審査態勢の見直し	SF、ビジネス固定ローン等の有効活用 120件 14億円 金融円滑化相談窓口、苦情相談窓口の設置など金融円滑化に向けた態勢を整備

## 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項 目	具体的な取組み（数値目標）	スケジュール	進捗状況
		平成21年度	平成21年4月～平成22年3月
地域の面的再生への役割発揮			
地域経済全体を展望したビジョン策定への支援	地域経済の活性化に向けた各種委員会に参画 全国地域の成功事例の情報収集・活用	地域経済の活性化に向けた各種委員会に参画 全国地域の成功事例の情報収集・活用 ビジョン策定	地域経済の活性化に向けた各種委員会に参画 国際陶磁器フェスティバル美濃産業振興部会 地域創発専門部会 新しい地域社会の未来を考える検討会 多治見商店街まちづくり検討会 多治見市環境審議委員会 等 全国地域の成功事例の情報収集・活用 全国信用金庫協会、信金中央金庫 地域経済全体を展望したビジョン策定1件 「滝呂まちづくり」
地域の活性化につながる多様なサービスの提供			
地域を担う若い世代や高齢者への金融知識の普及	金融経済に関する出張授業の実施 悪質商法・振り込め詐欺防止の講話の実施 目標 金融教育実施回数 60回	金融教育実施 20回 商業高校の研究グループのサポート	目標に対する実績 金融教育実施回数 50回 ・商業高校の課題研究授業を年間サポート 課題研究 「ファイナンシャルプランナー」 課題研究 「起業家になろう」 ・美濃加茂市との連携協定に基づいた「まちづくり出前講座」を7回実施
多重債務者問題への一定の役割発揮（相談機能を活かした予防策、多様な融資商品・目的別ローンなどの活用）	中学、高校での金融トラブル、消費者トラブルをテーマとした出張授業の実施 地域の自治会、老人会等で訪問販売などの悪質商法についての予防講話の実施	消費者教育授業の実施 悪質商法予防講話の実施	商業高校3年生を対象に金融トラブルについて講話を実施 内容：クレジットカード、多重債務など 地域の老人会などで振り込め詐欺防止についての講話を8回実施
コミュニティ・ビジネスやNPOへの支援・融資（マイクロファイナンス的な取組み等）、地域社会への貢献・還元	NPO応援ローンの推進 認知症サポーターの養成 スポーツ・文化振興、奨学金制度の運営	NPO応援ローンの見直し 認知症サポーターの養成講座受講 スポーツ・文化振興、奨学金制度の運営	認知症サポーターの養成講座 34回 受講者605名 「金融教育川柳コンクール」「中学生イラストコンテスト」「とうしんCUP」の開催 「とうしん地域振興協力基金」「東濃信用金庫育英会」による助成 美濃陶芸作品永年保存事業

## 経営改善支援の取組み実績

【平成21年4月～22年3月】

(単位：先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援取組 み先				経営改善支援取 組み率 = / A	ランクアップ率 = /	再生計画策定率 = /
			のうち期末に債 務者区分がランク アップした先数	のうち期末に債 務者区分が変化し なかった先	のうち再生計画 を策定した先数			
正常先	6,416	77		73	77	1.20		100.00
要 注 意 先	うちその他要注意先	315	21	126	171	54.28	12.28	100.00
	うち要管理先	8	1	1	3	37.50	33.33	100.00
破綻懸念先	107	36	0	34	36	33.64	0.00	100.00
実質破綻先	105	0	0	0	0	0.00		
破綻先	97	0	0	0	0	0.00		
小計(～の計)	632	210	22	161	210	33.22	10.47	100.00
合計	7,048	287	22	234	287	4.07	7.66	100.00